

株式会社 桧家ホールディングス 決算説明会

代表取締役社長 近藤 昭

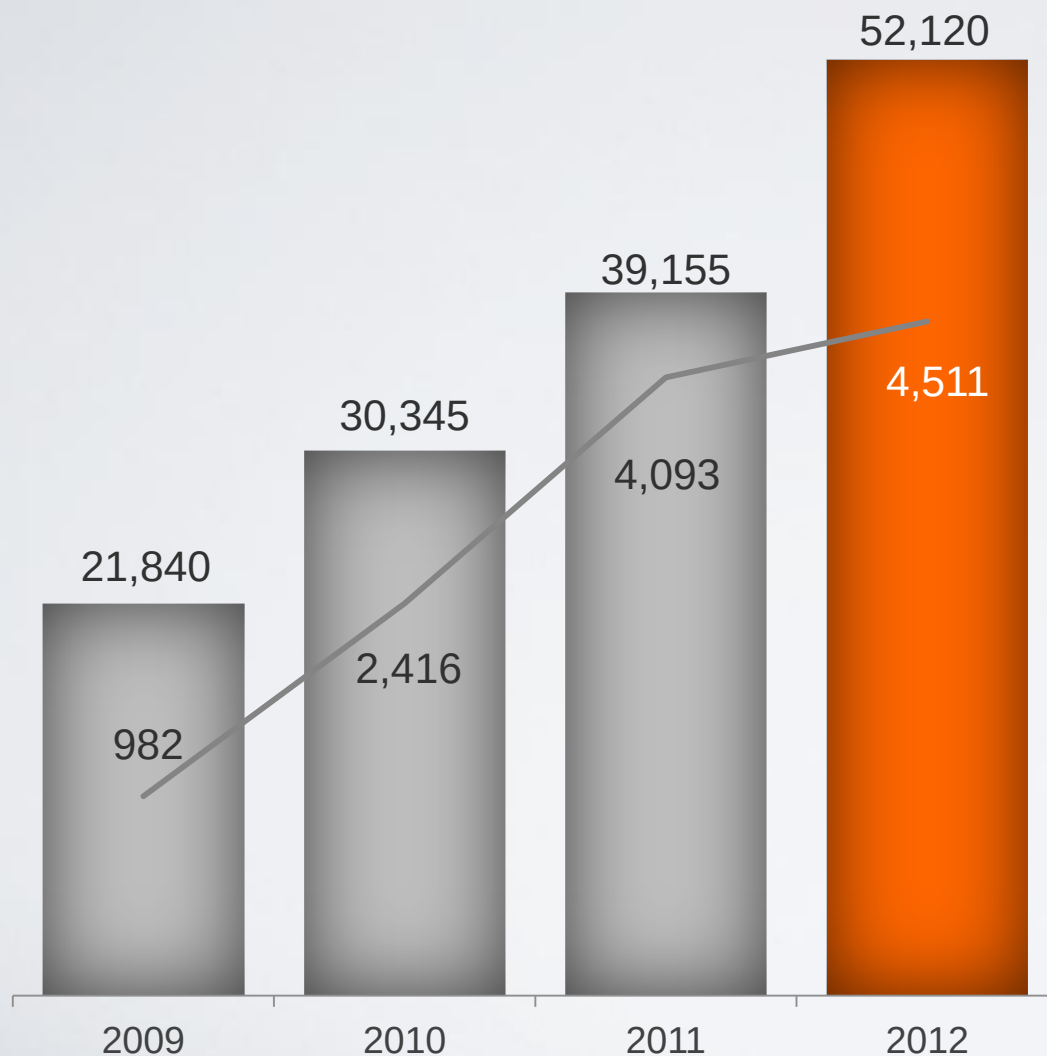
2013年2月21日
日本証券アナリスト協会
第1セミナールーム

連結業績

HINOKIYA

<前期比>

(単位:百万円)



売上高

+33.1%

(予算比104.2%)

経常利益

+10.2%

(予算比98.1%)

純利益

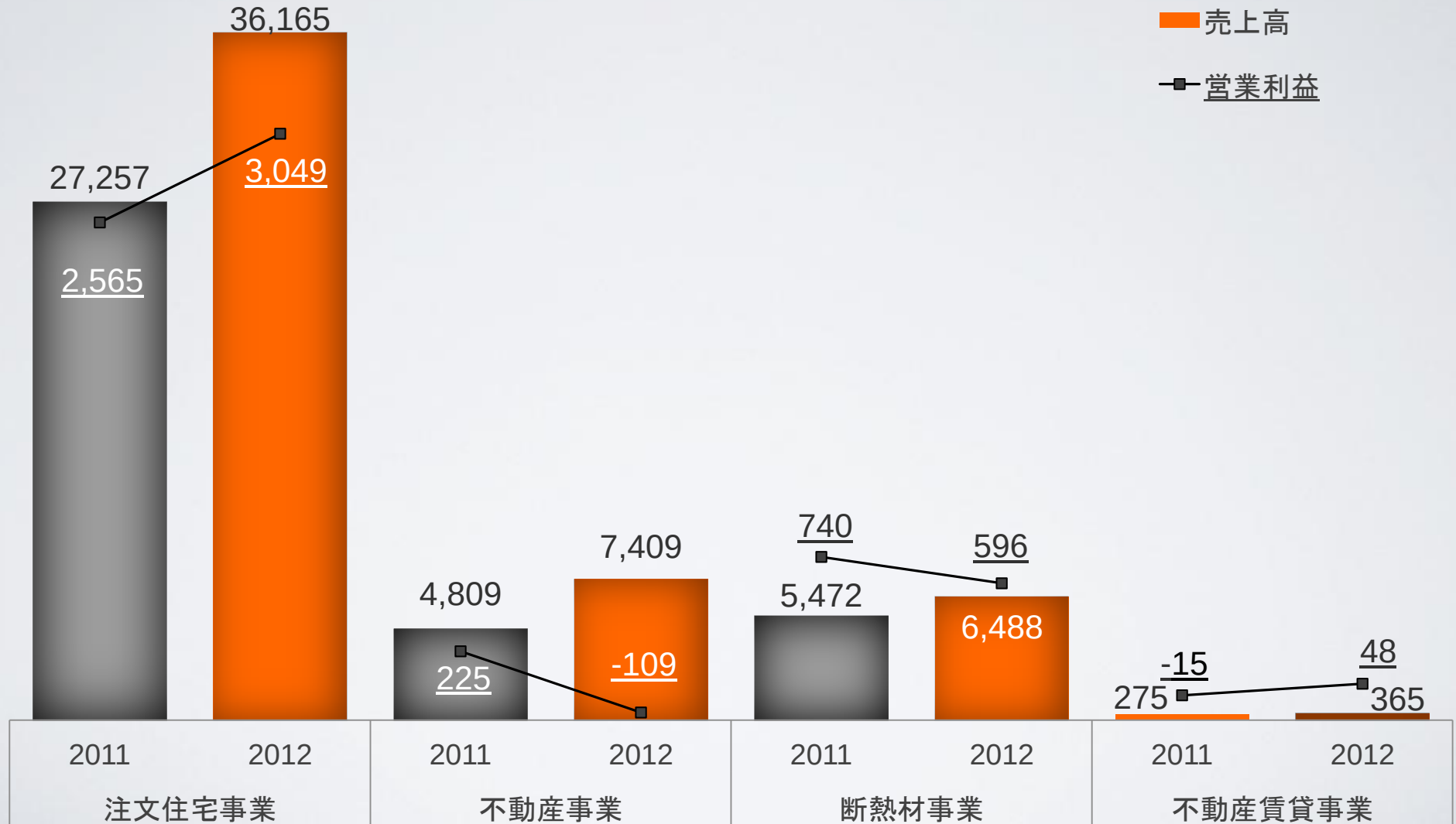
+13.9%

(予算比98.2%)

セグメント別損益

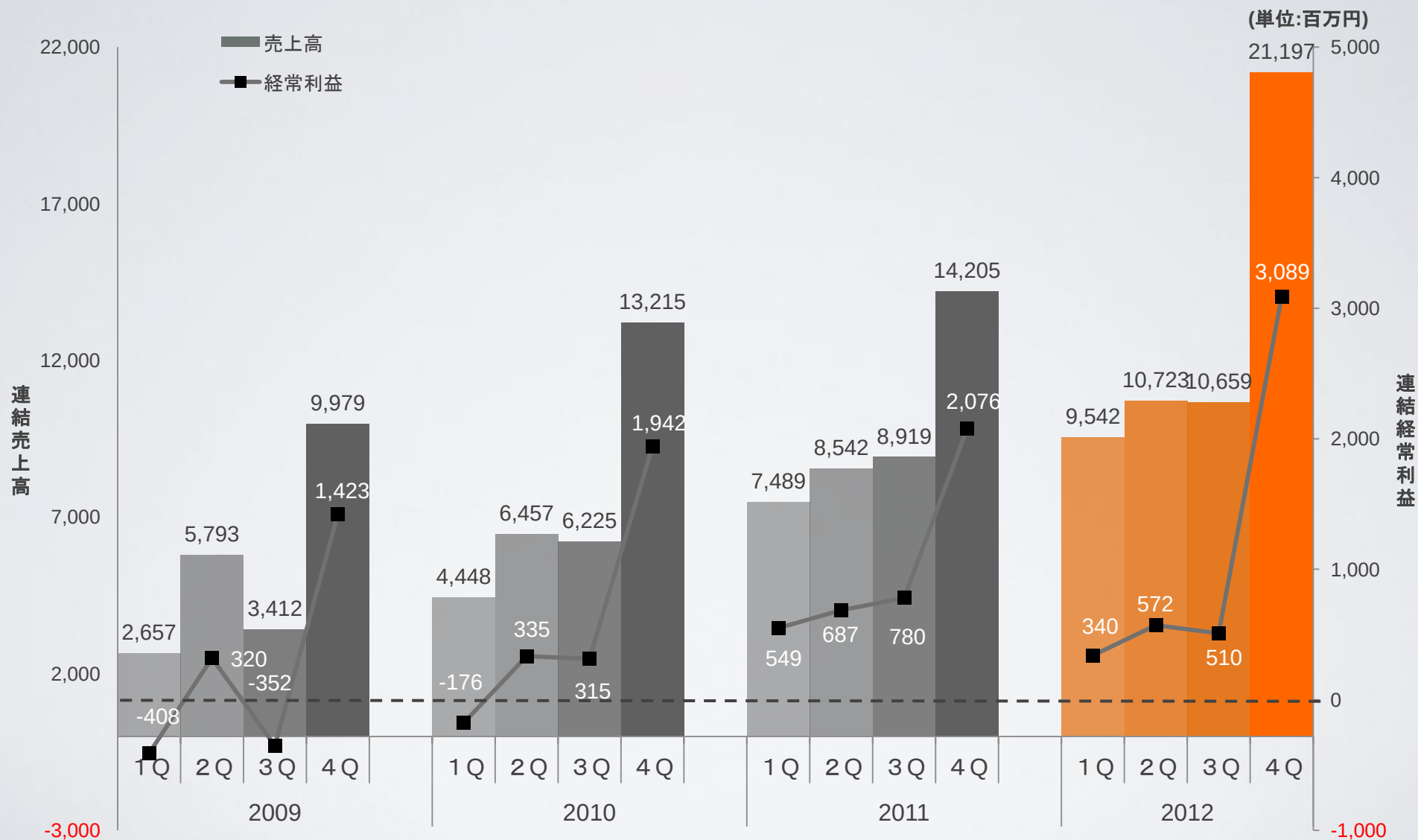
HINOKIYA

(単位:百万円)



四半期毎の連結損益推移

HINOKIYA



販売棟数

HINOKIYA

<前期比>



注文住宅事業

+28.9%

不動産事業

+105.1%

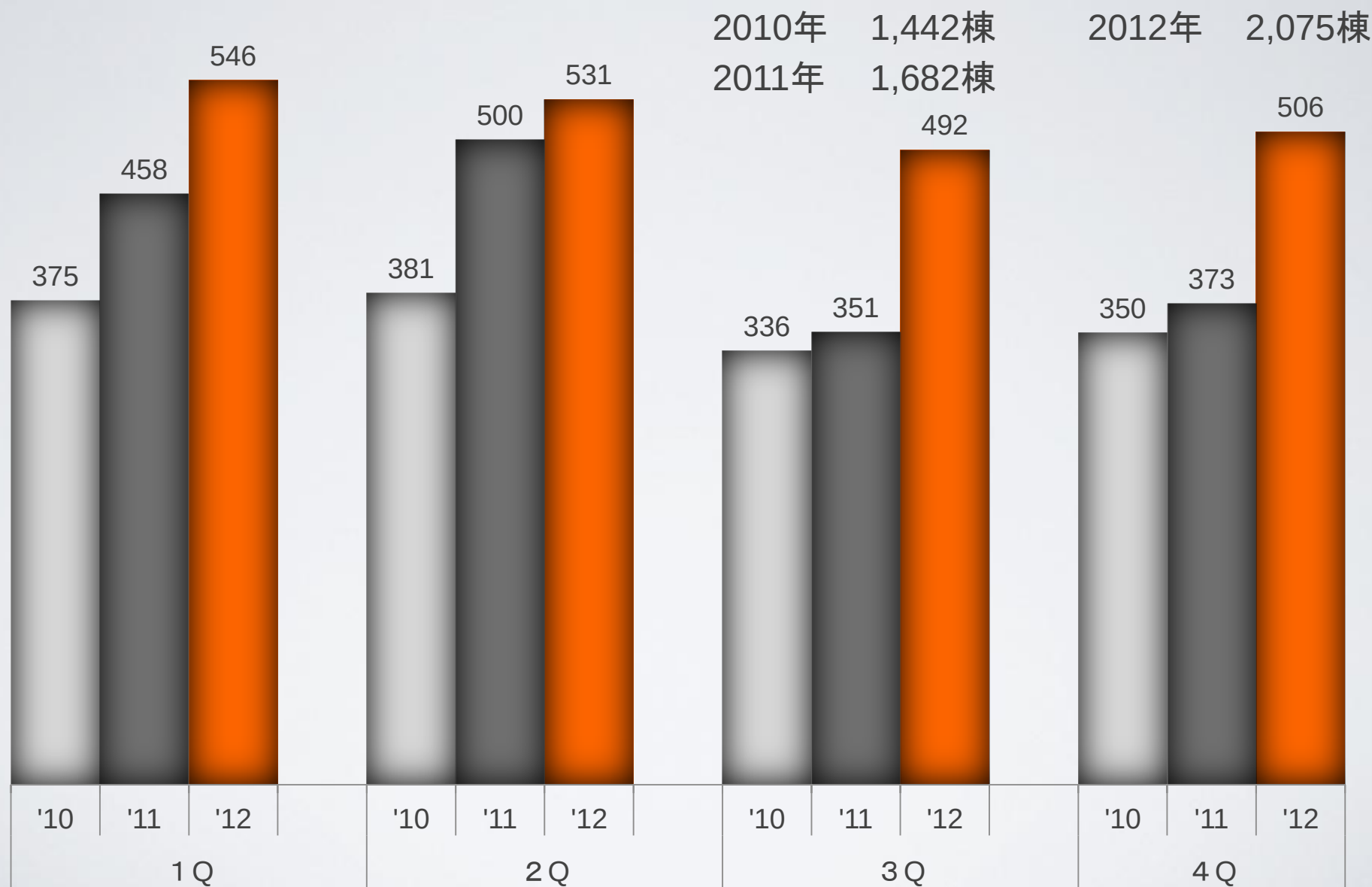
その他の事業

△10.7%

※グラフのデータは、内部取引相殺後の棟数

受注棟数推移(注文住宅)

HINOKIYA



注文住宅事業

売上高

- 前下半期の受注低迷の影響で上半期の売上高は低調
- 上半期の受注の回復と三栄分(175棟)の寄与

⇒ 前期比+32.4%

(既存6社分) 31,284百万円 (前期比 +16.1%)

(三栄分) 4,395百万円 (前期比 — %)

粗利益

- 三栄の低粗利率(M&A前受注分)の影響

⇒ 前期比△1.1p

営業利益

- 上記により

⇒ 前期比△1.0p

(既存6社分) 3,033百万円 (前期比 +18.2%)

(三栄分) 16百万円 (前期比 — %)

受注

- 2,075棟

⇒ 前期比+23.4%

(既存6社分) 1,912棟 (前期比 +13.7%)

(三栄分) 163棟 (前期比 — %)

※売上高については、対グループ外売上ベースで計算しています

不動産事業

売上高

- ・既存エリアは競合激化で売上高が減少

(既存) 4,619百万円 (前期比 $\Delta 4.0\%$)

(千葉) 2,790百万円 (前期比 $- \%$)

粗利益－東京の低下($\Delta 3.9p$)により、部門全体で $\Delta 2.5p$

営業利益

(既存) $\Delta 127$ 百万円

(千葉) 17百万円

⇒部門全体では赤字

断熱材事業

売上高

- ・1Qは低迷、2Q以降は、拠点増の効果で急速に回復・伸長

- ・期末にかけて施工能力が不足気味

⇒前期比 $+17.7\%$

粗利益－施工体制拡大による固定費増 ⇒前期比 $\Delta 1.4p$

営業利益

- ・営業体制の拡大による固定費増 ⇒前期比 $\Delta 4.3p$

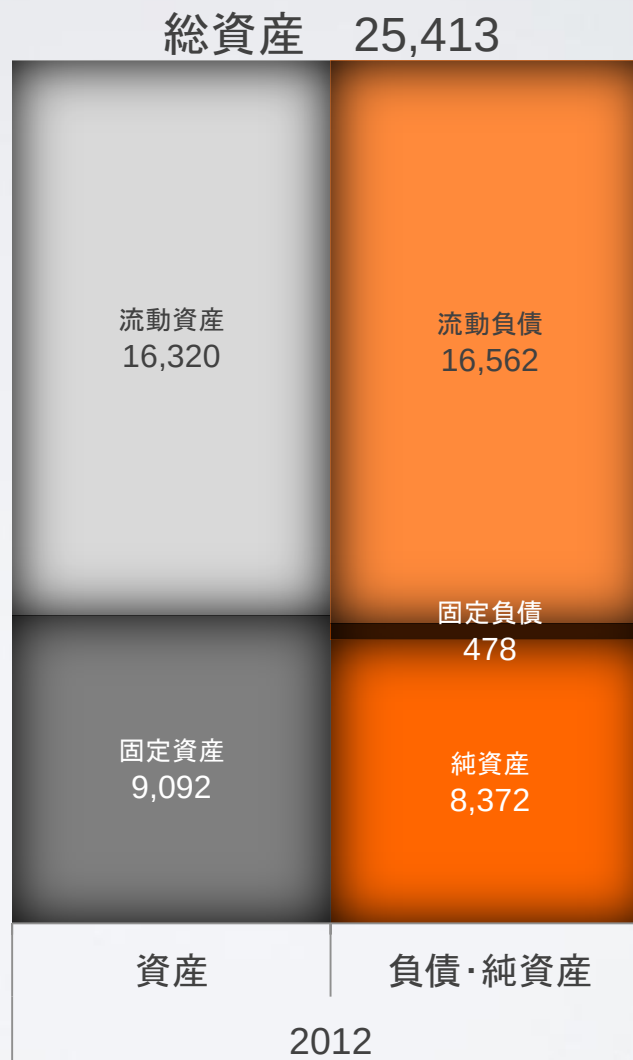
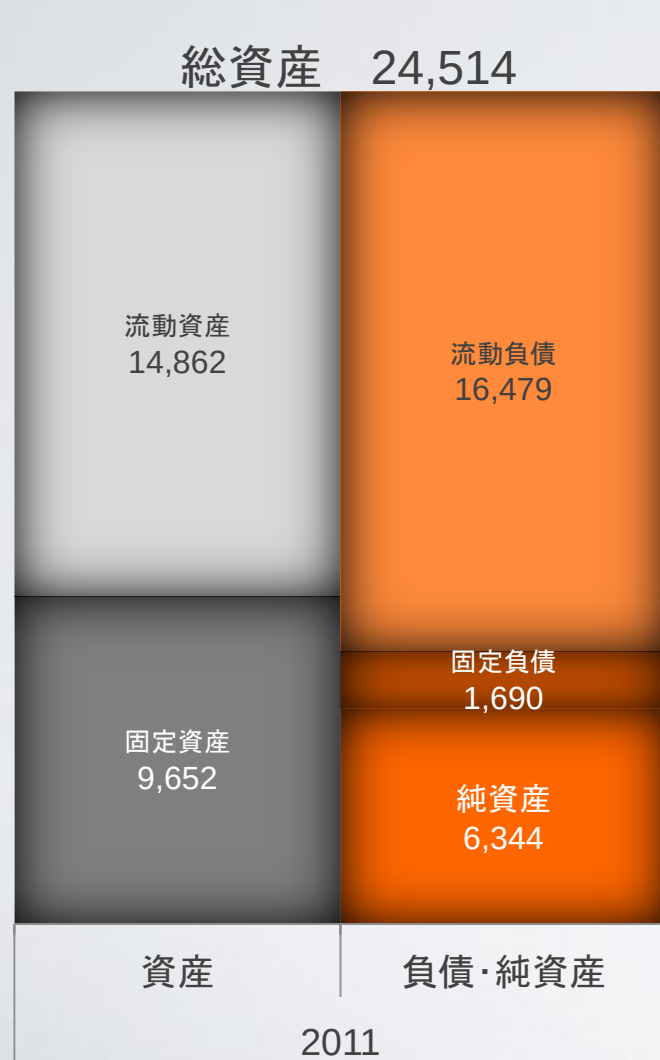
※売上高については、対グループ外売上ベースで計算しています

貸借対照表

HINOKIYA

(単位:百万円)

(前期末差)



<資産>

現預金	△1,650
売掛金	+368
販売用不動産	+2,662
土地	△672

<負債>

工事未払金	+1,239
有利子負債	△2,899
短期借入金	△ 900
長期借入金	△ 1,873
社債	△126

<純資産>

利益剰余金	+1,966
-------	--------

<配当>

△488

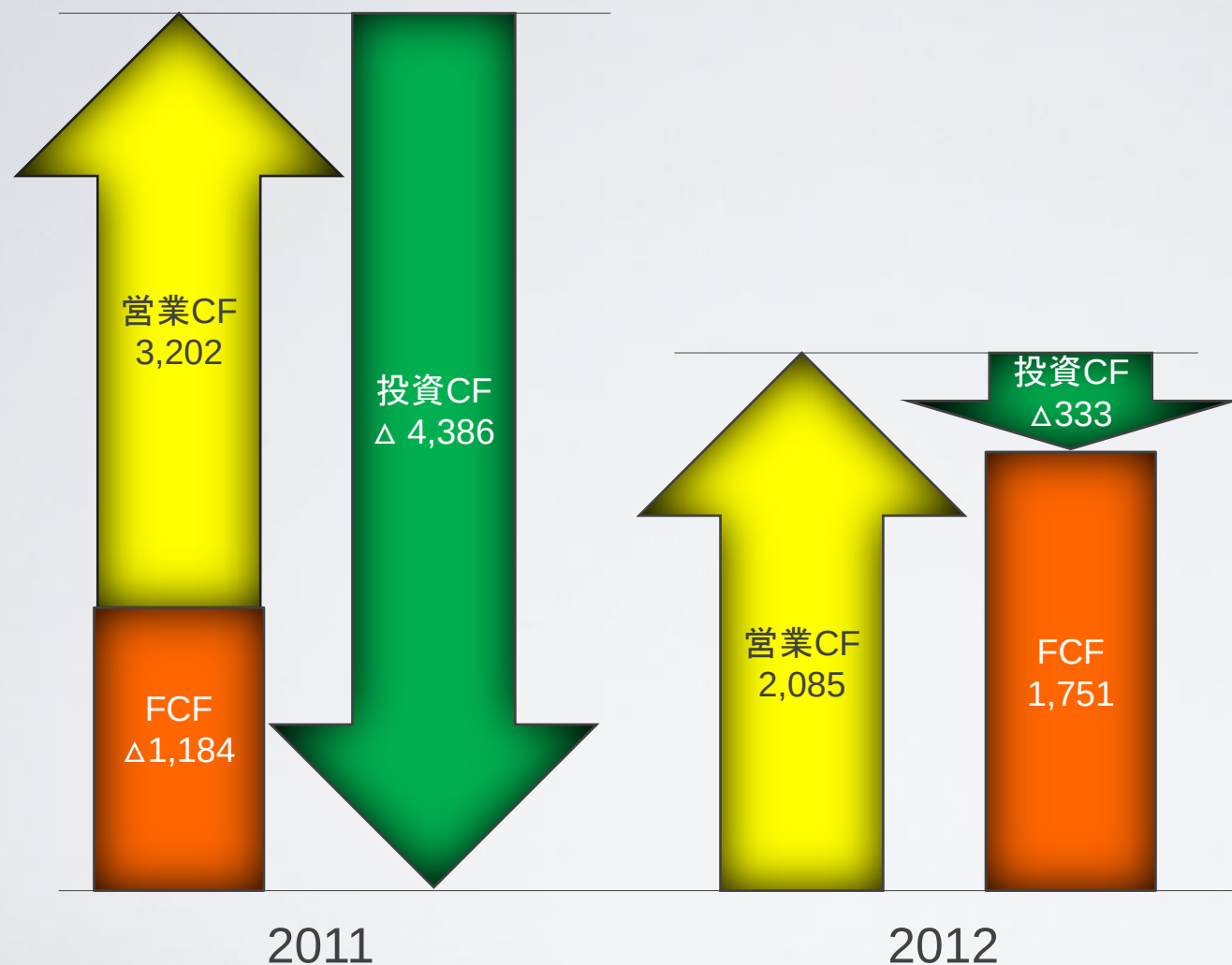
[自己資本比率]

32.4%
(+6.9p)

連結キャッシュフロー

HINOKIYA

(単位:百万円)



<営業CF>

税引前純利益	4,408
減価償却費	751
販売用不動産	△ 2,662
仕入債務増	1,758
法人税等支払	△ 2,359

<投資CF>

有形固定資産	△ 236
(取得 △ 1,073、売却 + 836)	

<有利子負債>

短期借入金	△ 900
長期借入金	△ 1,873
社債	△ 126

(現金及び現金同等物 △ 1,650)

<配当支出>

総計488

FCF:フリーキャッシュフロー

[貸借対照表]

- 4Qの売上拡大により増加した現預金(前受金)で借入金を圧縮
(前期末は、年末のM&Aで現預金と借入金の相殺進まず)
- 今期の業容拡大に備える土地の積極仕入⇒販売用不動産が増加
- 4Qの完工増加による工事未払金と断熱材の買掛金等が増加

[キャッシュフロー]

<営業CF>

- 不動産部門の土地仕入積極化での大幅な支出増(販売用不動産)

<投資CF>

- 展示場関連の投資と日本アクアの投資(施工体制強化)による支出
- 三栄・不動産千葉の遊休不動産の売却収入

会社概要

HINOKIYA

商 号	株式会社 桧家ホールディングス（英訳名：Hinokiya Holdings Co.,Ltd.）
所 在 地	埼玉県久喜市久喜中央一丁目 1 番20号
U R L	http://www.hinokiya-holdings.jp/
設 立	1988年10月13日
資 本 金	3億8,990万円
発 行 済 株 式 数	13,575,000株
上 場 市 場	名古屋証券取引所第二部（証券コード 1413）
決 算 期	12月31日
代 表 者	代表取締役会長 黒須 新治郎 代表取締役社長 近藤 昭
事 業 内 容	注文住宅事業、不動産事業、断熱材事業、不動産賃貸事業、その他の事業
連 結 子 会 社 (11 社)	桧家住宅、桧家住宅東関東、桧家住宅南関東、桧家住宅北関東、桧家住宅上信越 桧家住宅三栄、桧家住宅東北 桧家不動産 、日本アクア、桧家リフォーミング、桧家ランデックス
従業員数（連結）	1,239名 (2012/12/31現在)

グループ概要(子会社11社)

HINOKIYA

事業区分	会社名	営業エリア	事業内容
注文住宅事業 (7社)	桼家住宅	埼玉県、東京都の一部	木造注文住宅の請負、販売、設計、施工及び監理
	桼家住宅東関東	茨城県、福島県の一部	
	桼家住宅南関東	千葉県、東京都の一部	
	桼家住宅北関東	栃木県	
	桼家住宅上信越	群馬県、長野県北部	
	桼家住宅三栄	神奈川県、東京都の一部	
	桼家住宅東北	宮城県	
不動産事業	桼家不動産	東京都西部 埼玉県 千葉県、東京都東部	戸建住宅分譲 & 宅地の分譲・仲介
断熱材事業	日本アクア	全国	発泡断熱材の製造・販売・施工
不動産賃貸事業	桼家ホールディングス	埼玉県	不動産の賃貸
その他の事業	桼家ランデックス	(主に)首都圏	戸建賃貸住宅請負事業(資産活用)
	桼家リフォーミング	首都圏	リフォーム・外構工事
	桼家住宅	全国(北海道・沖縄除く)	F C事業

桧家ホールディングス

桧家リフォーム

桧家ランデックス

その他事業

桧家不動産

不動産
事業

日本アクア

断熱材
事業

桧家住宅東北

桧家住宅三栄

桧家住宅上信越

桧家住宅北関東

桧家住宅南関東

桧家住宅東関東

桧家住宅

注文住宅事業

直営展示場

87ヶ所
(2012年GW)



101ヶ所
(2013年GW)

受注棟数 2,492棟



出展計画

HINOKIYA

<2月>	<u>茅ヶ崎</u>	柏	
<3月>	<u>新百合ヶ丘</u>		
<4月>	<u>豊洲</u> <u>新前橋</u> <u>水戸笠原</u> (2棟目)	<u>浦和</u> <u>岩沼</u> (宮城)	<u>幕張</u> (2棟目) <u>レイクタウン</u> (越谷) <u>仙台東口</u>
<5月>	<u>新熊谷</u>	<u>郡山</u>	
<6月>	新座・朝霞	<u>千葉北</u>	<u>石巻</u> (2棟目)
<8月>	鶴ヶ島	<u>港北</u>	
<9月>	平塚	<u>長野中央</u>	高崎並榎

オレンジは新設(16棟)、黒字はリニューアル(計5棟)

ソーラーパネル搭載率(受注時点)推移

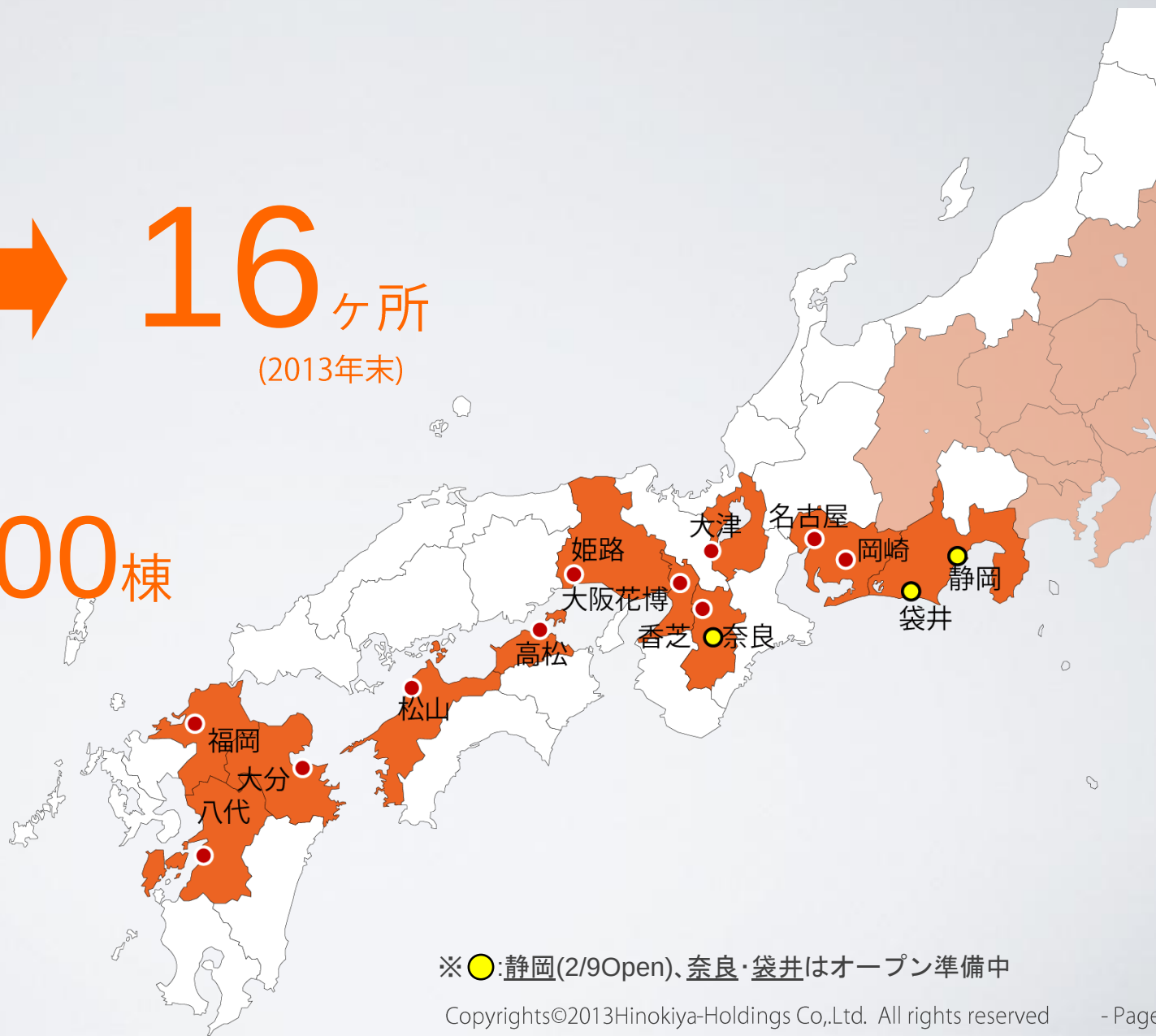
HINOKIYA



展示場

11ヶ所 (2012年末) ➡ 16ヶ所 (2013年末)

受注棟数 400棟



※ ●:静岡(2/9Open)、奈良・袋井はオープン準備中

オリジナル商品

HINOKIYA

フローリング



洗面ドレッサー



軒先システム



+

サイディング・24h換気システム・食器棚・ドア

2013年1月 3社経営統合



主要開発プロジェクト

- 練馬区南大泉3丁目Ⅱ (20棟)
- 松戸市常盤平6丁目 (15棟)
- さいたま市浦和美園 (12棟)
- 船橋市南三咲2丁目 (12棟)

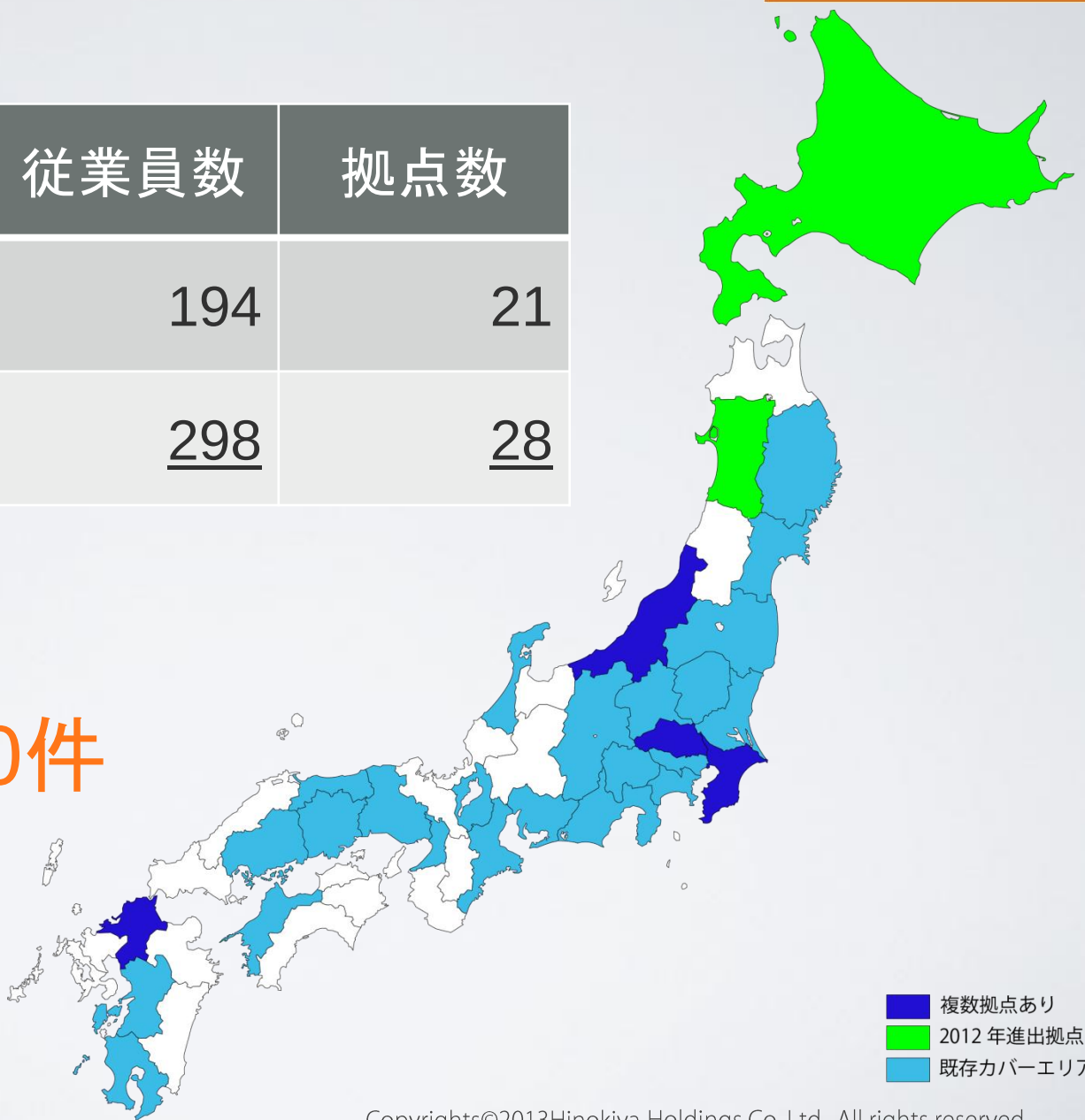


売上高 **100** 億円 販売棟数 **229** 棟

	施工件数	従業員数	拠点数
2011	15,575	194	21
<u>2012</u>	<u>19,733</u>	<u>298</u>	<u>28</u>



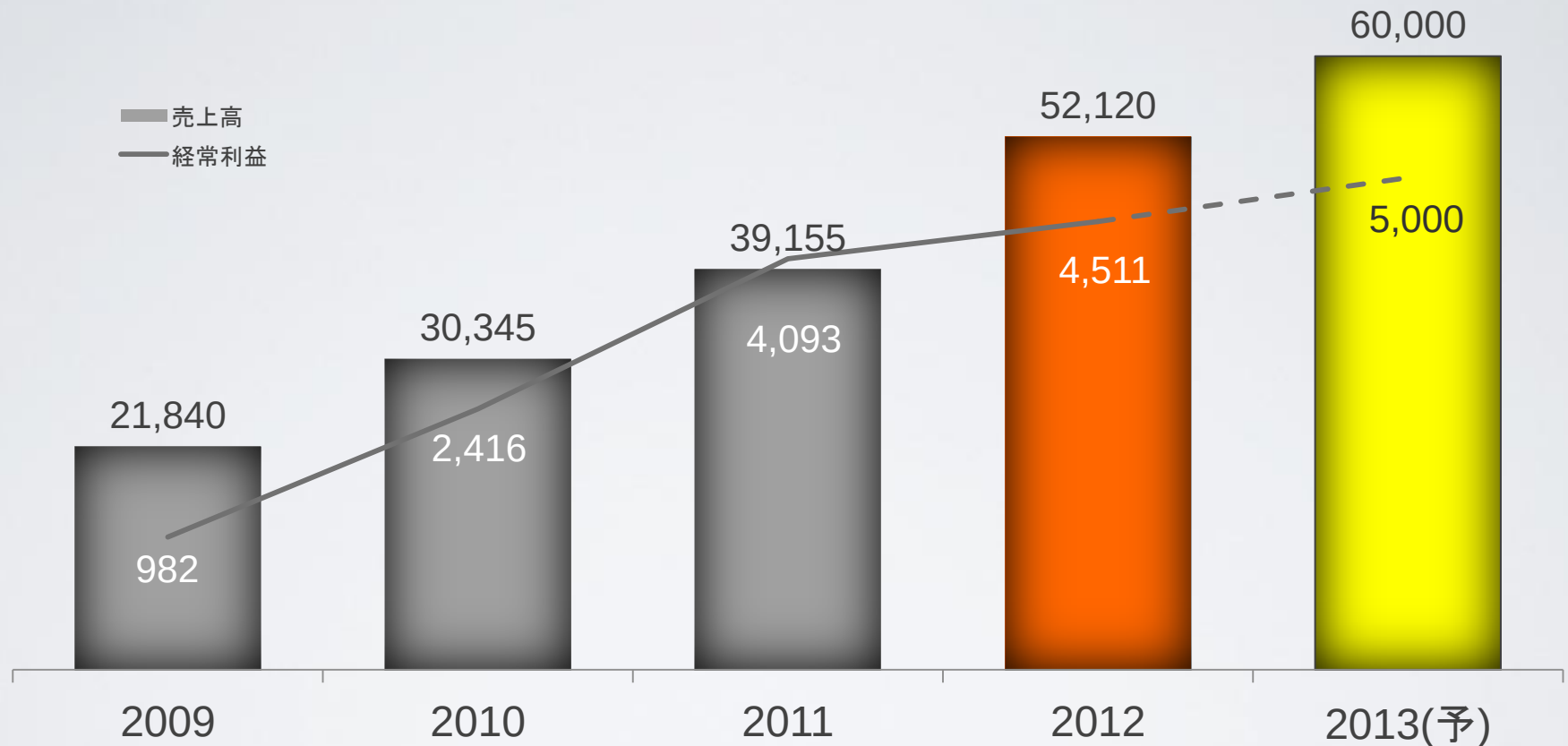
2013年 25,000件



2013年12月期 業績予想

HINOKIYA

(単位:百万円)



(%表記は前期比)

	売上高			営業利益		経常利益		純利益	
13/12期	60,000	+15.1%		4,900	+15.6%	5,000	+10.8%	2,900	+18.1%

2013年12月期予算(セグメント別)

HINOKIYA

(単位:百万円)



販売棟数 - 予算

HINOKIYA

■ その他(戸建賃貸住宅)

■ 不動産(分譲)

■ 注文住宅



<■ 注文住宅事業>
+17.6%

<■ 不動産事業>
+41.4%

<■ その他の事業>
+ 20.0%

注文住宅事業

売上高

- 三栄分の商品入替えでの単価ダウン
(全体棟数:前期比+284棟、+15.6%)

⇒前期比+12.1%

粗利益

- 三栄分の商品入替えにより、全体で

⇒前期比+0.3p

営業利益

- 三栄の増収と粗利率改善
- 展示場出店による固定費増

⇒前期比△0.2p

受注

- 展示場数の増加(11年GW 87→12年同 101)等の効果

⇒前期比+20.1%

※売上高については、対グループ外売上ベースで計算しています

不動産事業

売上

・手持ち在庫増で在庫回転を加速 ⇒前期比+35.0%

粗利益

・商品統一によるコストダウン ⇒前期比+0.9p

営業利益 大幅増収による固定費吸収 ⇒黒字転換

断熱材事業

売上

・拠点数増加の効果 ⇒前期比+21.9%

粗利益

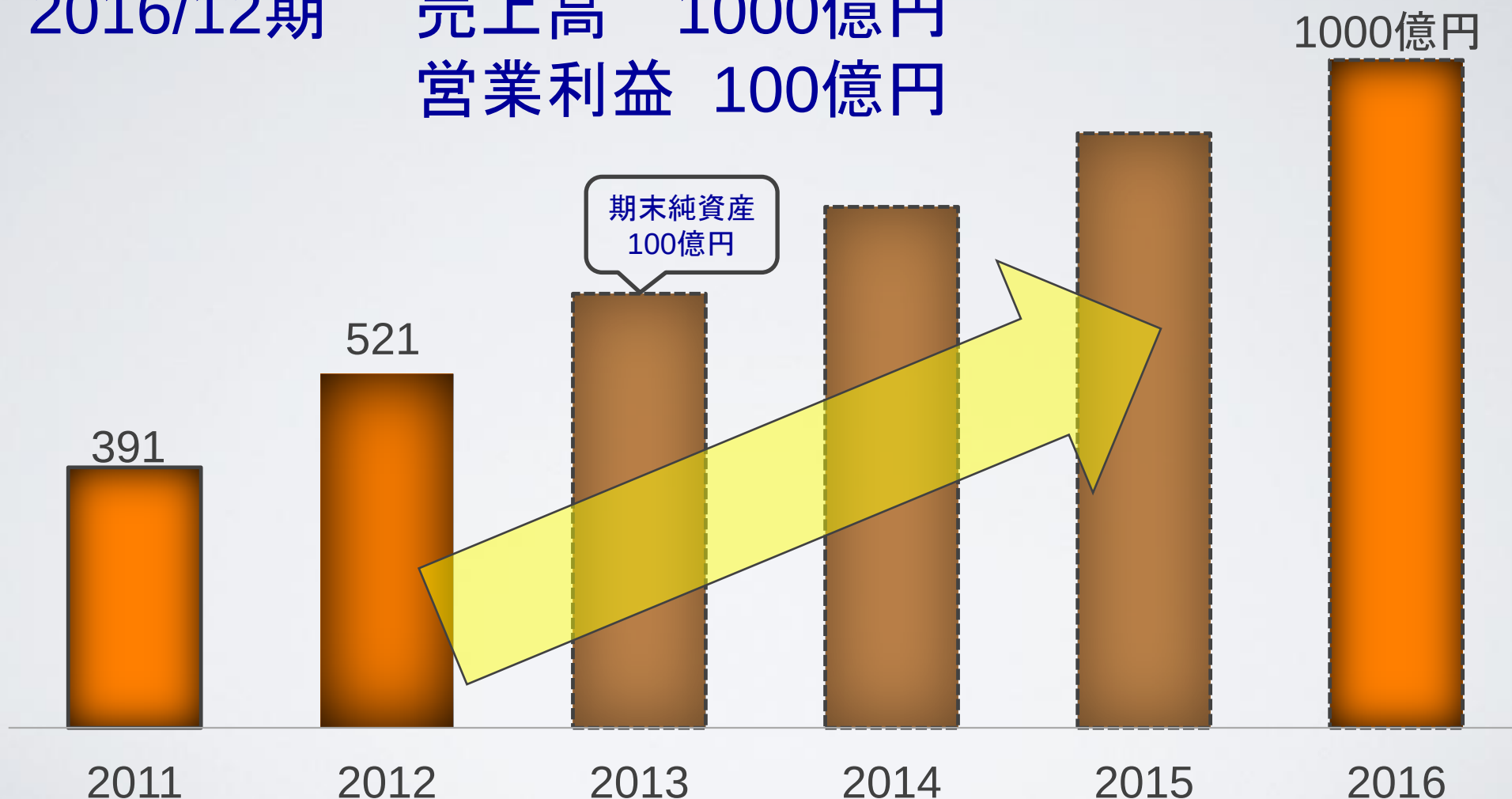
・施工部門の稼働率向上 ⇒前期比+0.9p

営業利益

・上記により、固定費増を吸収 ⇒前期比+2.2p

※売上高については、対グループ外売上ベースで計算しています

2016/12期 売上高 1000億円
営業利益 100億円



今期配当予想

HINOKIYA

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2013年予想 (2月8日発表)	—	20.00	—	26.00	46.00
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前期(12/12期)	—	10.00	—	(見込)26.00	(見込)36.00

今期中間で+10円の増配予定

配当性向 **21.5%**
(前期比 △1.6p)

直近52週の株価推移

HINOKIYA



本資料ならびにIRに関してのお問い合わせ先

担 当 : 経営企画部

所在地 : 埼玉県久喜市久喜中央1丁目1番20号

電 話 : 0480 - 26 - 1118

F A X : 0480 - 24 - 4001

E-mail : k-kikaku@hinokiya.jp

W E B : <http://www.hinokiya-holdings.jp>

投資家の皆さまへの対応は、上記の連絡先にて一括対応させて頂いております。弊社子会社へのお問い合わせはご遠慮願います。
また、金融庁・証券取引所・弊社WEBサイト・IRイベント・マスコミ等を通じて公表している情報以外については、情報の公平性の観点から、個別にお答えしかねる場合がございます。

本資料に記載されている当社の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。